



水ぼうそうについて



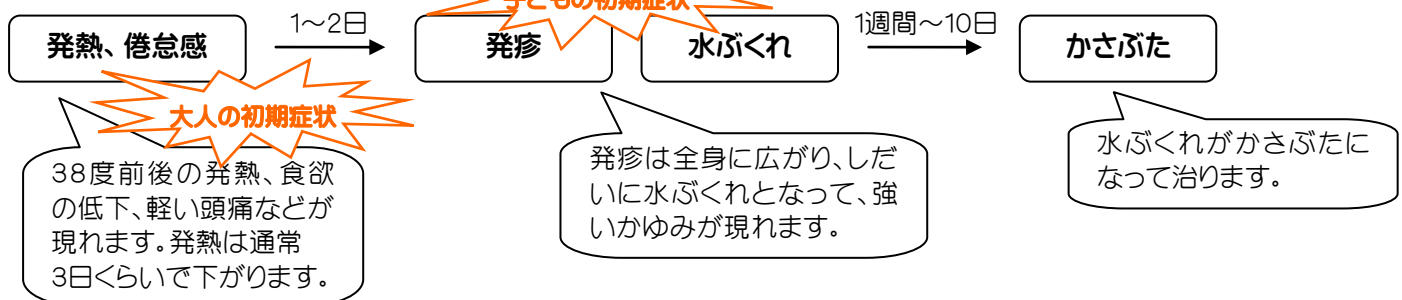
水ぼうそうとは？

水ぼうそうとは、水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる急性の伝染病です。毎年12～7月に多く発症し、8～11月には減少します。9歳以下の子どもに発症することがほとんどですが、大人にも発症することがあります。

どうやって感染するの？

感染した人の鼻汁、咳やくしゃみなどが鼻の粘膜や口から体に入る**飛沫感染**と、感染した人と濃厚に接触したときに体に入る**接触感染**によって感染します。潜伏期間は2週間程度(10～21日)で、感染力が非常に強く、発疹が出る前後1週間以内の患者さんは特に感染力が強いと考えられています。

どんな症状があるの？



※水ぼうそうは**子どもより大人の方が長引き、重症化しやすい**と言われています！！**肺炎や脳炎のような危険な合併症を起こす可能性もある**ので、大人で**水ぼうそうにかかったことがなく、予防接種も受けたことがない場合には、水痘ワクチンの接種をおすすめします！**

※**妊婦**の場合は、**合併症を引き起こし重症化したり、胎児に異常を引き起こしたりする可能性がある**ので、かかったことがない人は妊娠前に水痘ワクチンの接種を済ませておきましょう。

どんな治療をするの？

抗ウイルス薬の内服による治療が効果的です。また、かゆみを抑えるために外用薬(塗り薬)による治療が行われることもあります。

どうやって予防すればいいの？

- 感染している人との接触は避けましょう！
- 水痘ワクチンを接種しましょう！
 - ・日本小児科学会では、1歳以上の子どもに**2回接種**することを推奨しています。
 - ・また、感染している人との接触後**3日以内**に接種することにより、発症の防止や症状の軽減が期待できます。



水ぼうそうにかかったら…？

- 早めに医療機関を受診しましょう！
- 治療薬は、きちんと使いましょう！
- かゆみのケアをしましょう！
水ぼうそうの発疹は**かゆみが強い**のが特徴です。
 - ・かいて細菌に感染するのを防ぐために…
爪を短くして、手を清潔にしましょう。
 - ・かゆみを少しでも感じにくくするために…
室温を少し低めにする、患部を冷やすなど工夫をしてみましょう。

水ぼうそうのQ&A

Q. 水ぼうそうにかかった時、幼稚園・学校・職場に行ってもいいの？

A. 水ぼうそうにかかると、他の人にうつしてしまう可能性があります。治るまでは登園・登校・出勤は控えましょう。1週間ぐらい経過し、水ぶくれが全部かさぶたになったら感染力はなくなると言われていますが、自己判断は禁物です。治ったかどうかは、かかりつけのお医者さんに相談しましょう！

